



# リゾートで食す 地中海の恵み

トルコ南部、地中海に面した東西に細長い地中海地方は、珠玉のリゾート地が集まるエリア。シーフードやフルーツを満喫できるアンタルヤ (Antalya) を基点に、屋台グルメが豊富なメルスイン (Mersin) まで足を延ばしたい。



地中海地方の中でも一大リゾート地として発展してきたアンタルヤ。美しい海を望むリゾートであり、周辺に点在する遺跡観光の拠点であり、またオリーブや柑橘類の栽培が盛んな農園地帯としての顔を持っている。

リゾート地としてのアンタルヤでは、日光浴や海水浴、各種マリンスポーツに興じたり、高級リゾートでホテルライフを満喫するのがいいだろう。ビーチやマリナー沿いに建ち並ぶ洗練されたレストランでは、鯛やアジといったおなじみの魚や地中海でしか獲れないといわれる高級魚のラゴスなど、新鮮なシーフードを味わいたい。白いんげん豆と胡麻ペーストで作るサラダのピヤズもアンタルヤ地方の郷土料理としておすすめだ。

アンタルヤを訪れる旅行者は町の中心部にあるヨットハーバーをはじめ、コンヤアルトゥ・ビーチやララ・ビーチ沿

いのレストランやカフェに足を運ぶことが多い。しかし、トルコ語で「城内」を意味する旧市街のカレイチにもおいしい店がひしめき合う。シーフード以外にもケバブやトルコ風ピザ、ナスのムサカなど、トルコの気取らない家庭料理を手ごろな値段で楽しむことができる。

アンタルヤから東へ約600kmのメルスインもトルコグルメの旅では外せない

町の1つ。ここは19世紀から綿や羊毛を輸出するための港町で、今も地中海側の港として大きな役割を果たしている。日土友好のきっかけとなったエルトゥール号遭難事件の舞台、和歌山県串本町の姉妹都市といえわかりやすいだろう。

ここでの名物といえば屋台グルメが真っ先に挙がる。1つは肉料理のメル

スイン・タントゥニで、炒めた細切り肉や野菜をユフカという薄い生地でクレープのように巻いて食べるB級グルメだ。メルスインでは、トマトの旨味が凝縮されたペースト、サルチャを乗せたピザ、ビベルリ・エクメクもポピュラー。こちらは肉なしなので、小腹が空いた時につまむのがいいだろう。

スイーツでは不思議な見た目のジェゼリエが有名。甘いにんじんをペースト状にしたお菓子で、食感日本のゆべしに似ているという。好みでクルミやピスタチオ、アーモンドなどが混ざっていたりココナッツがまぶしてある。

## 滝観光や友好の碑を訪ねて

アンタルヤのイメージといえば、ヤシの並木道が木陰をつくるマリナーや美しい弧を描くビーチ、オリーブや柑橘類の果樹園、アボカドやバナナのプランテーションが広がる風景だろう。しかし、旧市街カレイチを中心とする町なかに目を向けると、曲がりくねった通り沿いに木造の伝統家屋や城壁が隣り合う

古都の趣が今なお色濃く残っている。

アンタルヤは紀元前159年、ペルガマンの王アッタロス2世によって築かれ、ローマ帝国、ビザンチン帝国、セルジुक朝、そしてオスマン帝国に統治されてきた。旧市街の入り口に位置するハドリアヌス門はローマのハドリアヌス帝が建造したもの。3つのアーチと美しい彫刻が特徴で、いかにもローマ時代の歴史遺産だ。一方、町の中心に建つイヴリ・ミナーレ・モスクは、13世紀にセルジुक朝のケイクバット1世によって造られた。カレイチの広場からよく見えるミナレット (尖塔) はイスラム建築らしい美しさと気品を兼ねそろえている。

アンタルヤを拠点に郊外へ足を運ぶなら、町の中心から約22kmのクルシュニルの滝は外せない。落差は18mだが、水量が豊富でダイナミックな迫力に目を奪われる。周辺にはほかにもデュデンの滝、エメラルドグリーンの滝などがあり、順路に沿って滝巡りができる遊歩道が整備されている。辺りはピクニックエリアとしても知られ、夏の間はバーベキューを楽しむ人々にぎわう。おすすめはデュデンの滝の上流にある公園で、園内のレストランでは獲れたてのマスの塩焼きが味わえる。

一方、メルスインでは、第2次世界大戦中の殉戦者のために設立した海軍慰霊碑があるアタチュルク公園を訪れたい。オスマン帝国軍艦、エルトゥール号の遭難事故があったのは明治時代。横浜から出航した船は和歌山県沖で暴風雨により遭難し、581人もの犠牲者を出した。付近住民の懸命な救助活動が両国の友好関係のきっかけとなり、串本町にも同型の軍艦遭難慰霊碑が立っている。なお、メルスインには1996年に串本通りという名前の通りができ、今なお友好の証が刻まれている。

## ジューシーな グレープフルーツを味わう

フレッシュな果実を育む気候や降水量などの条件がそろった地中海地方は、柑橘類の栽培に適した土地。トルコでもオレンジ、マンダリン、レモン、グレープフルーツなどが栽培されていて、柑橘類の輸出国としてはスペイン、南アフリカに続いて世界3位となっている。特に栽培が盛んなのは地中海沿岸の3つのエリアで、中心都市はアダナ近郊のチュクロバ、アンタルヤ、イズミルだ。なかでもアンタルヤはグレープフルーツの栽培で知られる。平野部ではグレープフルーツの木々が整然と並ぶ農園の風景を目にすることができる。

実の大きいグレープフルーツは、豊富な果汁と一緒にそのまま食べるのが一般的。ビタミンCが豊富で、消化促進や殺菌効果もある。アンタルヤでいただくならジューススタンドがおすすめ。その場でギュッと絞ってくれる生ジュースをぜひ味わいたい。



1 アンタルヤはビーチリゾート地でありながら、木造の建物や城壁が隣り合う古都の趣も感じられる都市  
2 ナイトタイムも充実しており夜景も美しいアンタルヤのハーバー  
3 4 アンタルヤでは、バナナの栽培も盛ん  
5 旧市街カレイチの広場から望めるミナレット  
6 上流には公園もあるデュデンの滝  
7 新鮮な柑橘類はそのまま切って味わうのもいい  
8 炒めた細切り肉や野菜をユフカに巻いて食べるメルスイン・タントゥニ